

第5回 ヨウ素利用研究シンポジウム プログラム

- ◆ 日 時 平成14年10月18日(金) 9:30~17:20
- ◆ 場 所 千葉大学けやき会館
- ◆ 主 催 ヨウ素利用研究会、千葉大学
- ◆ 共 催 (社)日本化学会、日本ヨード工業会
- ◆ 協 賛 (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、(財)千葉県産業振興センター、
(社)千葉県製薬協会、日本ヨード懇話会、千葉大学共同研究推進センター、
千葉工業大学 技術・情報センター、(財)ちば国際コンベンションビュロー
- ◆ 参加者 267名

<招待講演プログラム>

< I 部: 講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体/講演者名
9:30~9:35		<挨拶> 小倉 克之 (ヨウ素利用研究会会長, 千葉大学教授)	
(座長: 藤川 高志)			
1	9:35~10:10	強光子場の化学: フェムト秒レーザーが拓いた化学のフロンティア	東京大学大学院理学系研究科 山内 薫
(座長: 佐久間 昭)			
2	10:10~10:45	ヨウ素の地球化学的サイクル: 千葉のヨウ素の成因を考える	村松康行 放射線医学総合研究所
(座長: 荒野 泰)			
3	10:50~11:25	Reductive Deiodination in the Thyroid	Univ. of Maryland, USA Steven E. Rokita
(座長: 落合 正仁)			
4	特別講演 11:25~12:25	超原子価ヨウ素試薬を用いる新合成反応の開発とその応用	北 泰行 大阪大学大学院薬学研究科

< II 部: ポスターセッション > プログラム

開 場 12:00~14:30			
発表と質疑 前半[奇数番号]13:00~13:40, 後半[偶数番号]13:45~14:25			
A	基礎分野	発表件数 15件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等
B	応用分野	発表件数 4件	資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等
C	実用分野	発表件数 3件	利用、応用、実用品の開発と製品紹介等
W	FIUワーキンググループ	発表件数 13件	生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構
併設展示			ヨウ素製品の展示 ヨウ素分析機器の展示

< III 部: 講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体/講演者名
(座長: 小倉 克之)			
5	14:50~15:25	ヨウ素の高精度・高感度測定法	千葉大学工学部物質工学科 小熊幸一

(座長:近藤 忠夫)		
6	15:25~16:00	ヨード卵・光の機能性に関する研究 日本農産工業(株) 関本邦敏
(座長:大塚 功)		
7	16:10~16:45	ヨウ素レーザー加工機の開発 川崎重工業(株) 和仁郁雄
(座長:海宝 龍夫)		
8	16:45~17:20	Diaryliodonium Salt Photoinitiators for Cationic Polymerization Rensselaer Polytechnic Institute,USA James V.Crivello

17:40~19:00	懇親会(けやき会館レセプションホール)
-------------	---------------------

※講演時間には、質疑応答の時間を含みます。

<ポスター発表プログラム>

18日(金)千葉大学けやき会館

13:00~13:40 前半 奇数番号

13:45~14:25 後半 偶数番号

参加者と発表者のフリーディスカッション

番号	発表タイトル	○発表者・研究者	所属
A01	大環状超原子価ヨウ素化合物の合成	○北村二雄、森田宏昭、山路禎三	佐賀大理工、九大院工
A02	大環状エーテルとλ3-ヨードンの超分子錯体	末藤孝志、宮本和範、○落合正仁、坂本茂、山口健太郎	徳島大薬、千葉大分析センター
A03	超原子価ヨウ素試薬を用いる1級アルコール類からメチルエステル類への直接変換反応の開発	当麻博文、○前川智弘、北泰行	阪大院薬
A04	超原子価ヨウ素試剤/TEMPO系によるアルコールの酸化反応	○櫻谷憲司、中村紀子、東郷秀雄	千葉大院自然、千葉大理
A05	超原子価ヨウ素化合物を用いた1-アルキンから(Z)-フルオロアルケンの合成	○吉田雅紀、太田大助、福原彊、仙北久典、原正治	北大院工
A06	多機能性ビニルヨードニウム化合物の合成と活用:BF ₃ ·i-Pr ₂ O/ベンジルエーテル系の開発	○国嶋崇隆、萩山博史、谷昇平、落合正仁	神戸学院大薬、徳大・薬
A07	ポリヨウ化水素の発生法と反応性比較:1-(3-インドリル)-4-メチルチオ-2-トシル-1,3-ブタジエンの環化反応を例に	松本祥治、○佐川栄一、小倉克之	千葉大工、三井化学
A08	m-(ジアセトキシヨード)安息香酸を用いた新規反応剤の開発と芳香族化合物との反応	○長田憲典	九大院工
A09	N-アルケニルスルホンアミドからのヨードニウムイオンを経由する新規複素環合成	○南方聖司、鹿野大介、院田佳昭、大平落洋二、小松満男	阪大院工
A10	イオン性液体中におけるヨウ素レドックスカップルの電荷輸送機構	○川野竜司、渡邊 正義	横国大院工
A11	四ヨウ化チタンの還元力を活用する新規合成反応	○清水 真、早川隆一郎	三重大工
A12	ヨウ化サマリウム(II)を用いる光学活性アミノラクトンの1段階合成	○長田全弘、斉藤隆英、福沢信一	中央大理工
A13	含ヨウ素TTF誘導体を用いた超分子有機伝導体の開発	○今久保達郎、白旗崇、田嶋尚也	理研

A14	ポビドンヨードを添加したプラスチックフィルムの抗菌特性	○橋本和明、皆上隆宏、吉田克己、戸田善朝、澤田博司	千葉工大工、ジェイフィルム
A15	ヨウ素を用いて処理した金属表面の摩擦特性	○大谷親、坂本幸弘、高谷松文	千葉工大工
B01	内用放射線治療を目的とする放射性ヨウ素標識薬剤の開発	○宮本重彦、浅野陽子、上原知也、荒野泰	千葉大院薬
B02	放射性ヨウ素標識人アミノ酸による癌の放射線治療効果判定	○上原知也、中川美鈴、宮本重彦、佐竹諭、小池幸子、安藤興一、入江俊章、荒野泰	千葉大院薬、放医研
B03	高純度四ヨウ化チタンとチタンの製法	○福澤弘、豊田真一	日本天然ガス
B04	ヨウ素含浸アルミニウム陽極酸化皮膜に対する潤滑効果	○平塚健一、浅川優、高谷松文	千葉工大工
C01	ヨウ素化合物含浸アルミニウム陽極酸化皮膜—トライボロジー特性—	○高谷松文、橋本和明、戸田善朝、前嶋正受	千葉工大
C02	文化財くん蒸剤[アイオガード]	○赤川茂樹、田口信洋	日宝化学
C03	天然系抗菌消臭剤・ヨウ素シクロデキストリン包接体(CDI)	○高師勝男、萩原滋、鈴木久之、	日宝化学
W01	日本の土壌へのヨウ素の吸着特性	○吉田聡、村松康行、内田滋夫	放医研
W02	ヨウ素の水・土壌系における分析と移行	○結田康一、藪崎志穂、藤原英司、木方展治	農環研、筑波大地球科学
W03	バングラデシュの農耕土壌中のヨウ素と臭素の含有量	○M.S.Sultana、村松康行、A.J.M.S.Karim	放医研、BSMR Agricultural Univ.,Bangabandhu
W04	ウクライナ人と日本人のヨウ素摂取量の比較	○白石久二雄、I.P.Los、S.K.Sahoo、木村真三、村松康行、V.N.Korzun、N.Y.Tsigankov、P.V.Zamostyan	放医研、ウクライナ医科学研究センター
W05	DNAマイクロアレイを用いた酵母に対するヨウ素の影響評価	○北河恵美子、岩橋均、赤間邦子	産総研、NEDO、千葉大院自然
W06	菌類によるヨウ素の取り込みと気化	○坂内忠明、村松康行、	放医研
W07	千葉県内の鹹水より単離されたヨウ素酸化細菌	○天知誠吾、宮崎一美、町田伸隆、笠原瑞代、篠山浩文、藤井貴明、村松康行	千葉大園芸、放医研
W08	土壌環境からのヨウ素の揮発に及ぼすバクテリアの貢献度	○笠原瑞代、天知誠吾、花田智、鎌形洋一、篠山浩文、村松康行、藤井貴明	千葉大院自然、産総研、放医研
W09	マガキガイ(軟体動物・腹足綱)によるヨウ素の高濃度蓄積	○石井紀明	放医研
W10	多重ガンマ線分析法を用いたヨウ素-129の分析	○初川 雄一、藤嶋輔、大島真澄、篠原伸夫	原子力研
W11	ヨウ素含有肥料による作物へのヨウ素の富化	○関本均、佐藤祐也、町美代子	宇大農
W12	海洋光合成生物によるヨウ素の濃縮と利用 その2	○岩本浩二、石原麗子、二木香与、関李紀、白岩善博	筑波大生物、筑波大化学
W13	再処理施設周辺におけるヨウ素-129モニタリングの現状	○植頭康裕、渡辺均、武石稔、篠原邦彦	サイクル機構